



二俣川小だより

12月号

～笑顔いっぱい 友達いっぱい～

横浜市立二俣川小学校 令和5年11月23日



創立150周年

みんなの心も表情もきらきらに

副校長 和田 恭子

4年ぶりのキラキラ展には、たくさんの保護者の皆様、地域の皆様にご来校いただき、たくさんの励ましのお言葉を賜りありがとうございました。廊下もきらきらしていましたが、子ども達もいろいろな学年の作品に触れながら作品の素敵などところをみつけてメッセージを書いている姿もたくさん見かけ、笑顔も「きらきら」していました。

新型コロナウイルス感染症の位置づけが、令和5年5月8日から「5類感染症」になってから半年が経過し、多くの子ども達がマスクを外して生活する場面が増えてきました。令和4年度まではマスクを着用していたため、お互いに表情がわかりにくく、感情を読み取ることが難しかったです。ところが、コロナが5類になってからすぐの運動会では、子ども達が一生懸命に力いっぱい友達を応援している姿や、満面の笑みでダンスを踊っている姿、負けて悔しくて泣く姿を目の当たりにしました。「この子はこんな表情で応援をするんだな。」「笑うとこんな表情になるんだな。」と、今までマスクの下に埋もれていた表情を見ることができ、心まできらきらしたことを覚えています。

この仕事をしている一番の楽しみは、子ども達と接して、たくさんの笑顔に触れることです。5月まではマスク越しの笑顔だったので、この半年はさまざまな表情に触れることができて本当に嬉しいです。

本日举行されました「二小音楽会」でも、子ども達の一生懸命さが皆さんにも届いたことと思います。歌声だけでなく表情でも楽曲の様子を一生懸命に伝えていたことを感じていただけたら大変嬉しいです。子ども達は練習のときから、指揮者をしっかり見ることや、体でリズムを感じて表現すること、姿勢は背筋を伸ばして立ち、声だけでなく全身を使って歌うことを意識していました。令和5年の音楽会も運動会と同様に4年ぶりのマスクなしでの行事となり、カメラで撮影した子ども達の表情も4年ぶりにマスクなしとなりました。この4年間で振り返り、子ども達の成長を感じるなかで、今年度はマスクがなくなった年として一つの節目になったのではないのでしょうか。音楽会でのお子さまの頑張りを褒め、感想をご家族でお話ししていただけると幸いです。



いよいよ新校舎建築工事が開始します

11月13日(月)から、新校舎建築工事がスタートしました。早速、正門付近に鉄板を敷き始め、まずは杭打ちの工事から始まります。

今までの工事よりも、重機の出入りが増えます。二俣川小学校北側の免許センターから中尾小学校付近の道路を主に使用します。道路には誘導員が3名常駐し、子ども達の登下校の時刻には重機の移動がないように作業していただけます。ご不便をおかけすることもあるかと思いますが、よろしくお願いいたします。



正門付近に鉄板を敷き始めました